

123

平成二十四年三月七日提出
質問第一二二三号

普天間飛行場の補修に関する質問主意書

提出者

小野寺五典

普天間飛行場の補修に関する質問主意書

米軍普天間飛行場は、平成八年に移設が日米で合意されて以来、返還を見越して、大規模な補修がなされておらず、老朽化が進んでいる。

一方、政権交代後の政府の迷走により、沖縄県民の信頼は決定的に失われ、移設に関する地元理解は進んでいない。先般は、米軍再編ロードマップにおいて、従来パッケージであった普天間移設と海兵隊のグアム移転・嘉手納以南の米軍施設の返還とが切り離され、普天間の固定化が現実味を帯びてきている。

今般、米国側が同飛行場の大規模補修を実施する意向を示し、玄葉外務大臣も記者会見で補修の必要性について言及した。

このことを踏まえ、以下の通り質問する。

一 普天間飛行場の補修について、現在行われている在日米軍再編の見直しに関する日米協議において、協議がなされているか。また、米国側よりわが国に費用の負担を求めている事実はあるか。

二 日本政府として、普天間飛行場の補修に関し、どのように受け止め、費用の負担も含めた対応についてどのように考えているか。

三 わが国が費用を負担する場合、今年度及び来年度の負担はどのくらいであると考えているのか。
右質問する。